

骨材試験成績表

株式会社 ケイナン 御中

2024年 2月 29日

西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社

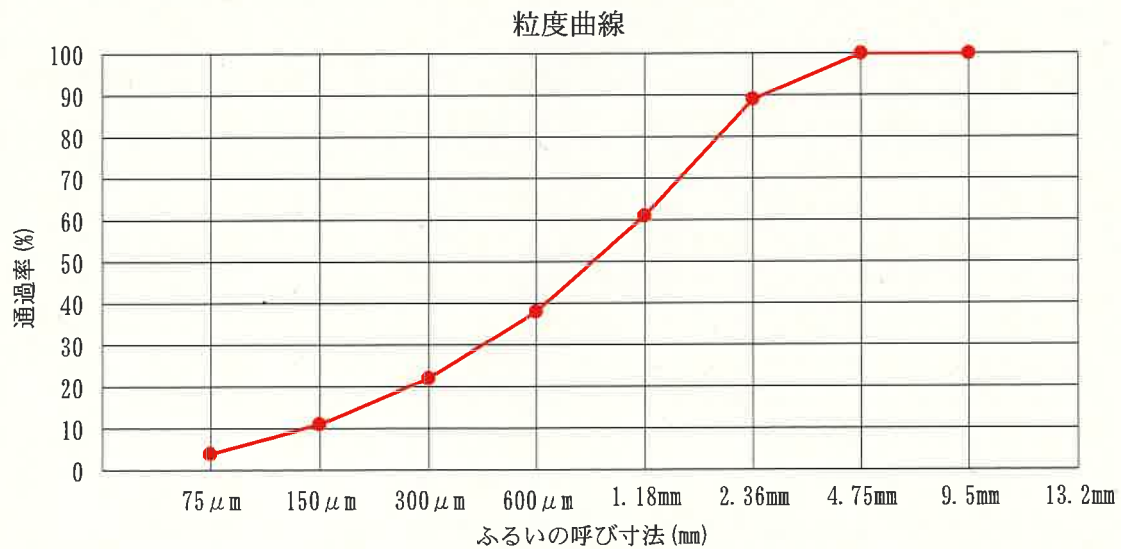
広島支店 広島総合事務所
統括所長 廣本 輝夫



ご依頼の材料試験結果は下記のとおりです。

業務名	アスファルト事前審査		
試料名	砕砂 (中砂)		
産地	骨材ストックヤード		
採取年月日	2024年1月18日		
骨材の種類	砕砂	最大寸法 (mm)	4.75

ふるい分け試験		試験	実測値	規格値
呼び寸法	各ふるいを通過する 質量分率 (%)	密度 (g/cm ³)		
		表乾	2.644	2.45 以上
		かさ	2.597	—
		見掛	2.724	—
		吸水率 (%)	1.80	3.0 以下
		安定性損失量 (%)	1.2	10 以下
		微粒分量 (%)	—	—
		粒形判定実積率 (%)	—	—
		モルタルの膨張率 (%)	—	—
		ポップアウト (個)	—	—
		粘土塊量 (%)	0.08	0.25 以下
		粗粒率	2.79	—



受付番号 : D23-188

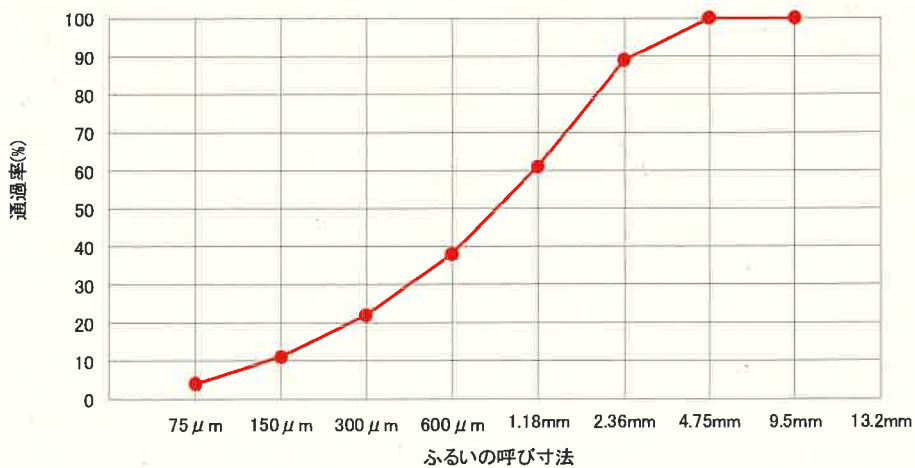
確認者	試験者

JIS A 1102	骨材のふるい分け試験
------------	------------

業務名	アスファルト事前審査		
試料名	砕砂(中砂)	試験者	中尾 喜之
採取地	骨材ストックヤード	試験場所	広島総合事務所 土木試験課
採取年月日	2024年1月18日	試験年月日	2024年1月24日
ふるい分け手法	手動	最大寸法(mm)	4.75

試験室の状態	室温 (°C)		湿度 (%)		
	17		36		
質量差 注(1)	試験前の試料の質量(g)	試験後の試料の質量(g)	試験前後の試料の質量差(%)	粗粒率	
		921.6	921.3	0.0	2.79
ふるいの呼び寸法	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量の累計(g)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)
9.5 mm	0.0	0	0.0	0	100
4.75	0.0	0	0.0	0	100
2.36	96.8	11	96.8	11	89
1.18	265.2	29	362.0	39	61
600 μm	213.5	23	575.5	62	38
300	143.5	16	719.0	78	22
150	103.0	11	822.0	89	11
75	58.6	6	880.6	96	4
受皿	40.7	4	921.3	-	-
計	921.3	100	921.3	-	-

粒度曲線



注(1) 連続する各ふるいの間にとどまった試料の質量と受皿中の試料の質量との総和は、ふるい分け前に測定した試料の質量と1%以上異なってはならない。

受付番号 : D23-188

舗装調査・試験法便覧 A002		細骨材の密度及び吸水率試験		
業務名	アスファルト事前審査			
試料名	砕砂(中砂)	試験者	中尾 喜之	
採取地	骨材ストックヤード	試験場所	広島総合事務所 土木試験課	
採取年月日	2024年1月18日	試験年月日	2024年1月25日	
最大寸法(mm)	4.75	フラスコの容積	500 ml	
試験室の状態	室温(°C)	湿度(%)	水温(気泡除去後) 注(1)	水温における水の密度(ρ_w)
	20	36	20	0.9982
測定番号		1	2	
密度	① フラスコ番号	3	4	
	② (フラスコ+水)の質量 (g)	706.1	706.6	
	③ フラスコの質量 (g)	207.4	208.2	
	④ 水の質量 ②-③ (g)	498.7	498.4	
	⑤ 試料の質量 (g)	500.2	500.2	
	⑥ (フラスコ+試料+水)質量 (g)	1017.5	1017.8	
	⑦ 加えた水の質量 ⑥-(③+⑤) (g)	309.9	309.4	
	⑧ 表乾密度 $⑤ \times \rho_w / (④ - ⑦)$ (g/cm^3)	2.645	2.642	
	⑨ 2回の試験の平均値 (g/cm^3)	2.644		
	平均値からの偏差 注(2) (g/cm^3)	0.00		
試験	⑩ 乾燥後の試料の質量 (g)	491.4	491.3	
	⑪ かさ密度 $⑩ \times \rho_w / (④ - ⑦)$ (g/cm^3)	2.598	2.595	
	⑫ 2回の試験の平均値 (g/cm^3)	2.597		
	平均値からの偏差 注(2) (g/cm^3)	0.00		
	⑬ 含水量 ⑤-⑩ (g)	8.8	8.9	
吸水率	⑭ 見掛密度 $⑩ \times \rho_w / (④ - ⑦ - ⑬)$ (g/cm^3)	2.725	2.723	
	⑮ 2回の試験の平均値 (g/cm^3)	2.724		
	平均値からの偏差 注(2) (g/cm^3)	0.00		
	⑯ 乾燥前の試料の質量 (g)	500.2	500.2	
試験	⑰ 乾燥後の試料の質量 (g)	491.4	491.3	
	⑱ 吸水率 $(⑯ - ⑰) / ⑰ \times 100$ (%)	1.79	1.81	
	⑲ 2回の試験の平均値 (%)	1.80		
試験	平均値からの偏差 注(2) (%)	0.01		

注(1) 試験に用いる水の温度は $20 \pm 5^\circ C$ でなければならない。また、気泡除去前後の水温の差は $1^\circ C$ を超えてはならない。
注(2) 試験の精度は平均値からの偏差が、密度の場合は $0.01g/cm^3$ 以下、吸水率の場合は 0.05% 以下でなければならない。

JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験

業務名 アスファルト事前審査

試料名 砕砂(中砂)

試験者 中尾 喜之

採取地 骨材ストックヤード

試験場所 広島総合事務所 土木試験課

採取年月日 2024年1月18日

試験開始日 2024年1月23日

最大寸法(mm) 4.75

試験完了日 2024年1月31日

試験溶液密度(g/cm³) 1.165

繰り返し回数 5

溶液の温度(°C) 20

ふるい分け試験				②試験前の 各群の質量(g)	③試験後の 各群の質量(g)	④各群の 損失質量分率 (1-③/②)×100 (%)	骨材の 損失分率 ①×④/100 (%)
通る ふるい (mm)	とどまる ふるい (mm)	各群の 質量 (g)	①各群の 質量分率 (%)				
0.15	—	99.3	10	—	—	—	—
0.3	0.15	103.0	11	—	—	—	—
0.6	0.3	143.5	16	100.0	98.0	2.0	0.3
1.18	0.6	213.5	23	100.0	98.5	1.5	0.3
2.36	1.18	265.2	29	100.0	98.4	1.6	0.5
4.75	2.36	96.8	11	100.0	98.9	1.1	0.1
9.5	4.75	0.0	0	—	—	—	—
合 計		921.3	100	—	—	—	1.2

注(1) 骨材の損失質量分率は、各群の質量分率と各群の損失質量分率との積の総和とする。試料の質量分率が5%未満の群の損失質量分率は、実際に試験を行った最も近い群の損失質量分率を採用する。

注(2) 0.3mmふるいを通過する骨材の損失質量分率は0とする。

JIS A 1137	骨材に含まれる粘土塊量の試験
------------	----------------

業務名	アスファルト事前審査	試験者	中尾 喜之
試料名	砕砂(中砂)	試験場所	広島総合事務所 土木試験課
採取地	骨材ストックヤード	試験年月日	2024年2月1日
採取年月日	2024年1月18日		
最大寸法(mm)	4.75		

試験室の状態	室温 (°C)	湿度 (%)
		22
測定番号	1	2
① 試験前の試料乾燥質量 (g)	369.8	372.2
② 試験後の試料乾燥質量 (g)	369.5	371.9
③ 損失質量 ① - ② (g)	0.3	0.3
④ 粘土塊量 = ③ / ① × 100 (%)	0.08	0.08
⑤ 平均値 (%)	0.08	
平均値からの偏差 (%)	0.00	

注(1) 精度:試験を2回行った場合、平均値との差が0.2%以下でなければならない。